

より確かな
未来のために
日本の“今”を
調査する

九州農政局 統計部 業務説明



SAFF

データの力で。

農林水産統計

Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries

はじめに．統計とは

- 統計は、世の中の傾向・現象・性質を数量的に表すこと
- 歴史的・政治的にも、統計の重要性は認識されています。

○ 統計とは

**集団現象を数量的に把握すること。
一定集団について、調査すべき事項を定め、
その集団の性質・傾向を数量的に表すこと。
(大辞林)**



○ 統計と社会・政治との関係

フローレンス・ナイチンゲール
(1820～1910. 英国)

- ・ クリミア戦争での看護師団のリーダー
- ・ 英国軍の戦死者・傷病者のデータを分析し、戦死者の多くは、戦闘で受けた傷ではなく、傷を負った後の治療や病院の衛生状態が十分でないことが原因と解析
- ・ グラフ等を使って視覚化して役人にプレゼン。

→治療現場の大幅な改善
英国の王立統計協会の会員に選出

豊臣 秀吉 (1537～1598)

- ・ 租税の基礎条件の明確化のため、太閤検地を実施
- ・ 田畑の測量、収穫量の調査であり、日本初の全国規模の検地（調査）

→年貢を正確に徴収、
耕作人と田畑の結びつけの
管理が実現

はじめに．統計とは

- 統計法に基づき、行政として統計調査を適切に実施することが重要。

○ 統計法の位置づけ

行政機関が作成する統計は、
総務省が制定する「統計法」で、目的が定められている。

(昭和22年に制定、平成19年に全面改正)

統計法（平成十九年法律第五十三号）
第1条（目的）

この法律は、**公的統計**が国民にとって**合理的な意思決定を行うための基盤となる重要な情報**であることにかんがみ、
公的統計の作成及び提供に関し基本となる事項を定めることに
より、公的統計の体系的かつ効率的な整備 及び その有用性の
確保を図り、**もって国民経済の健全な発展及び国民生活の向上に寄与**
することを目的とする。

- 国の行政機関・地方公共団体などが作成する「公的統計」は、
行政で意思決定を行うものであり、
さらに、社会全体で利用される情報基盤ともなる

1. 農林水産省統計部について

○ 農林水産省統計部は農林水産政策の基礎資料を作成している部門です。

○ 農林水産統計の役割について

農政の推進

より効果の高い政策を行うためには、農林水産業を取り巻く状況を正確に捉えるデータが必要です。

統計部では、

1. 国の財政支出の算出根拠
2. 需要安定対策等の施策の発動基準
3. 政策目標の設定・評価

に必要な調査を実施しています。

学術研究・教育など

公表された調査結果は、日本の農林水産業を取り巻く情勢を捉えるための“ものさし”となります。

統計部で作成する統計は、

1. 国民が農林水産業を捉える指標
2. 学術的な研究データ

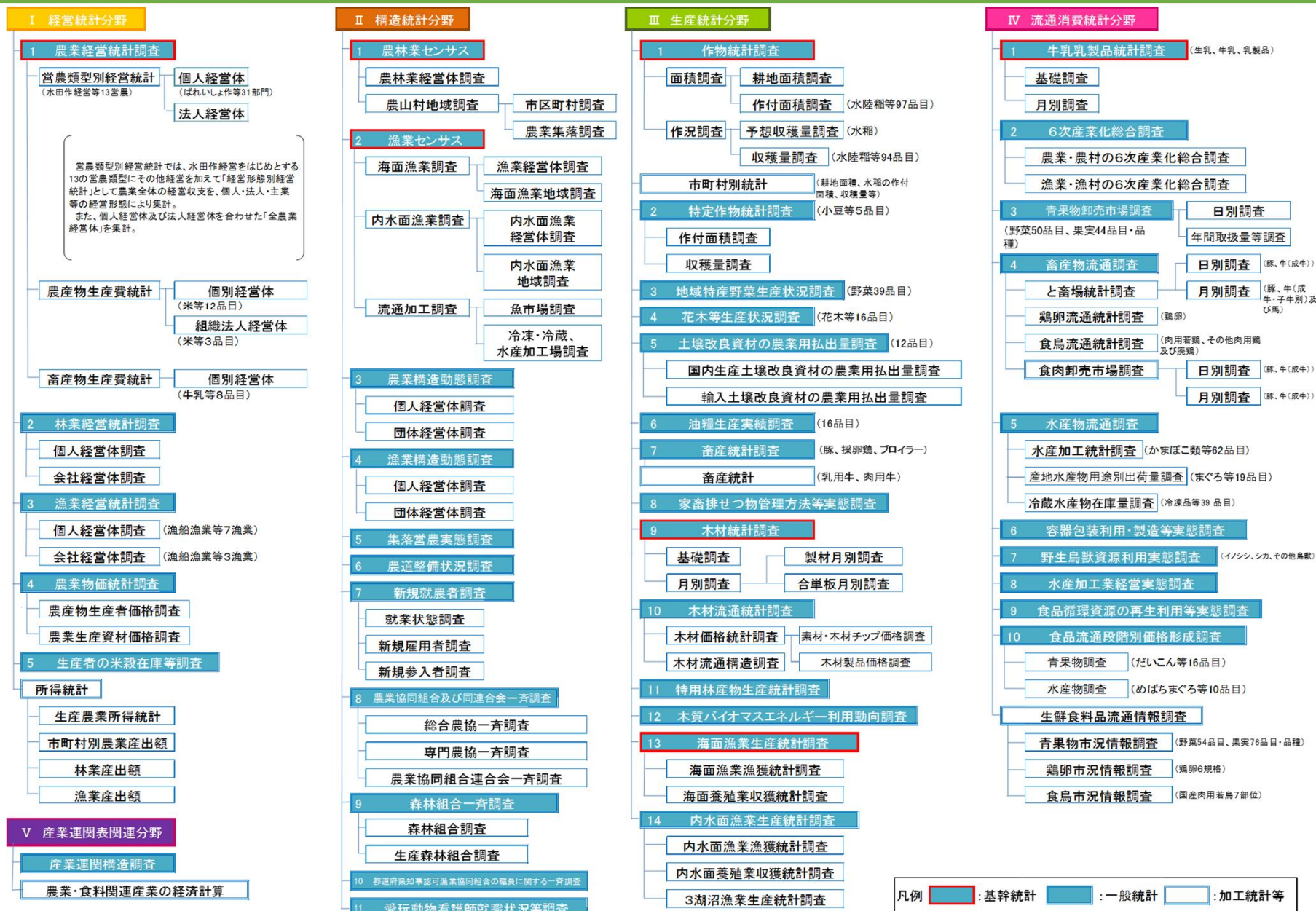
などとして、広く活用されています。



施策の企画立案（社会に求められる）に必要な調査結果を、
農林漁業の動向や施策の方向性を把握して、
しっかり適切に調査して、取りまとめ、公表することが必要

2. 農林水産統計の体系図（令和7年度）

統計部では、農業経営統計調査、作物統計調査、農林業センサスなど公的統計の中核となる特に重要な統計調査（**基幹統計調査**）を7調査実施しているほか、6次産業化総合調査などの一般統計調査を実施しています。



資料：農林水産省
統計情報
ホームページ
<https://www.maff.go.jp/j/tokei/annai.html>

3. 日本の農林水産業の実態（各種統計調査の結果）

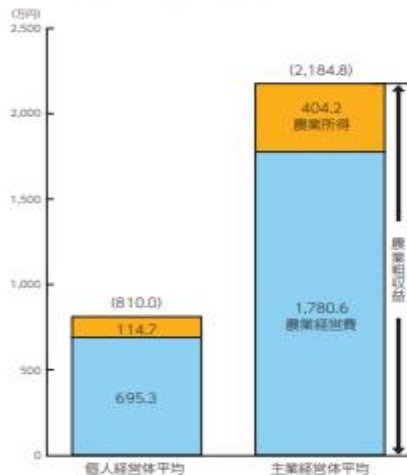
経営統計分野

農業の収入はどの位？（令和5年）

農業所得
個人経営体：114.7万円
主業経営体：404.2万円
※ 主業経営体とは、農業所得が主で、自営農業に60日以上従事している65歳未満の者がいる個人経営体をいう。



営農類型別経営統計

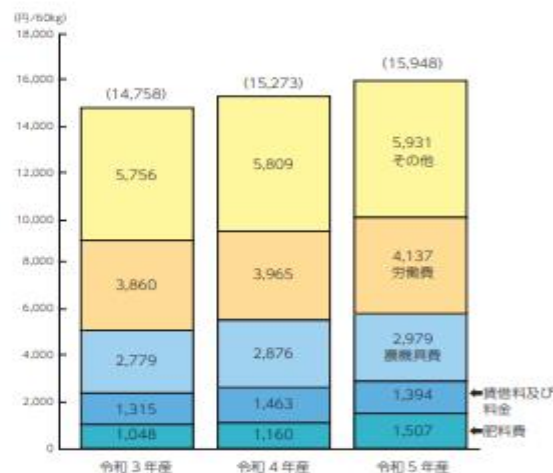


農作物を作るのにかかる費用は？（令和5年産）

米生産費（個別経営体）
60kg 当たり：15,948円
※ 米生産費（個別経営体）
60kg 当たり：15,948円



農産物生産費統計



生産統計分野

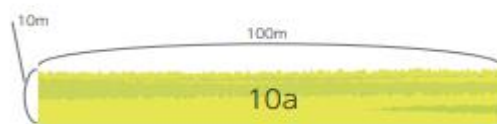
お米の生産状況は？（令和6年産概数値）

水稻の収穫量（子実用）：734.5万トン
単収：540kg（10a 当たり）



作物統計調査

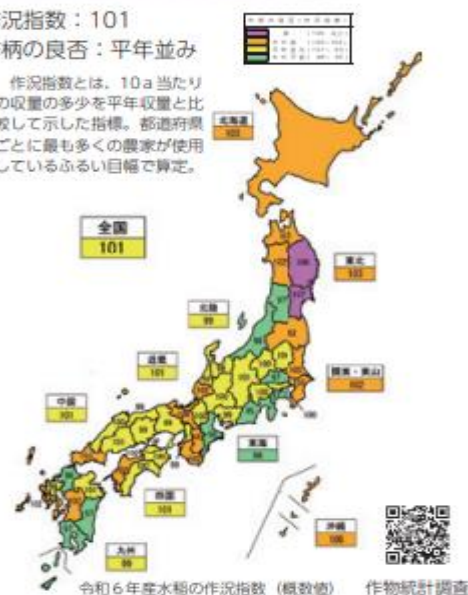
※ 単収は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量。



※ 1人当たり年間米消費量は51.1kg（食料需給表：令和5年度概算値）

作況指数：101
作柄の良否：平年並み

※ 作況指数とは、10a当たりの収量の多少を平年収量と比較して示した指標。都道府県ごとに最も多くの農家が使用しているふるい目幅で算定。



構造統計分野

どんな人が農業を担っているの？（令和2年）

基幹的農業従事者：136.3万人
平均年齢：67.8歳



農林業センサス



15歳～49歳 50歳～64歳 65歳以上

※ 基幹的農業従事者とは、個人（世帯）で事業を営む経営体のうち、15歳以上で主に仕事として農業に従事している世帯員をいう。

農業経営体数は107.6万経営体、うち個人経営体は103.7万経営体です！

令和5年の新規就農者は4.3万人、うち49歳以下は1.6万人です！



新規就農者調査

流通消費統計分野

6次産業化の状況は？（令和4年度）

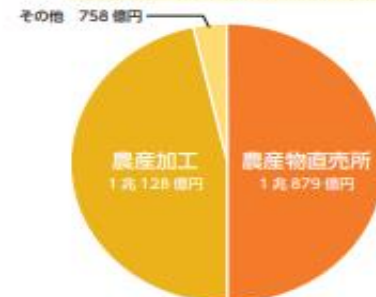
総販売（売上）金額：2.4兆円 総従事者数：43.1万人

※ 農業生産関連事業と漁業生産関連事業の計



6次産業化総合調査

農業生産関連事業の
総販売（売上）金額の内訳



※ 「その他」は「観光農園」、「農家レストラン」、「農家民宿」

漁業生産関連事業の
総販売（売上）金額の内訳



※ 「その他」は「農家レストラン」、「漁家民宿」

4. 組織紹介（令和7年1月現在 本省）

本省

統計部

管理課

・統計調査に関する総合調整、総務経理

統計品質向上室

・統計調査結果の分析的審査、統計作成プロセスの点検・検証

経営・構造統計課

・農林水産業に関する経済面の統計を作成

センサス統計室

・農林漁業の構造全般を把握

生産流通消費統計課

・農林水産物の生産実態の把握

消費統計室

・6次産業化、農水産物の流通消費の実態を把握

統計企画管理官

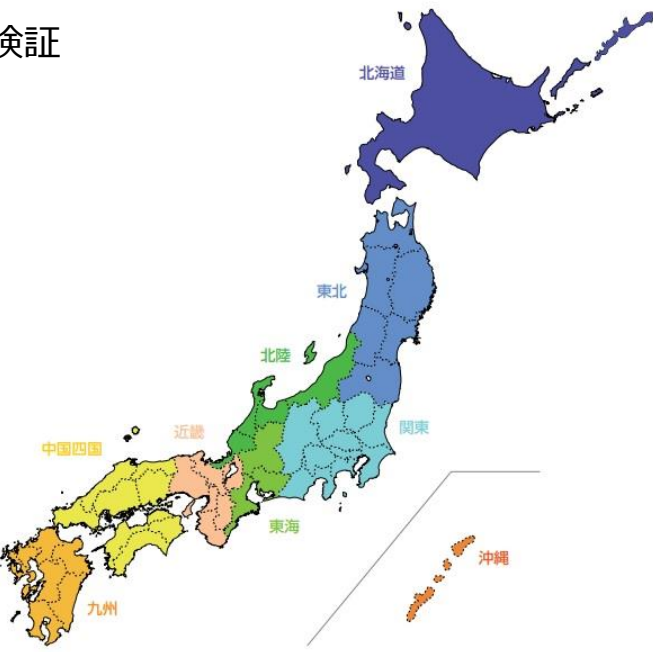
・統計調査の円滑な実施、結果の利活用を促進

地方組織

地方農政局統計部※

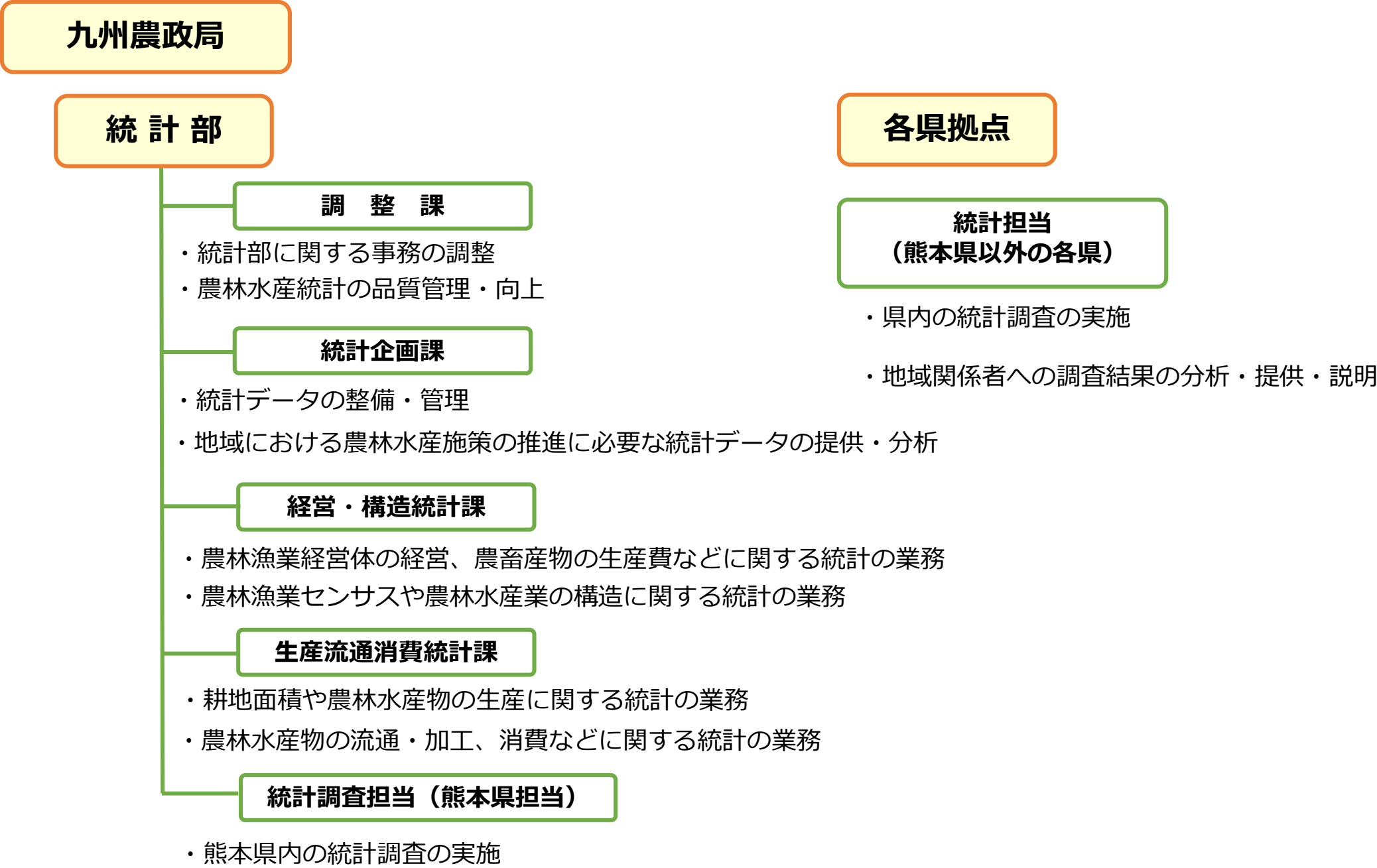
北海道農政事務所

・統計調査の実施・取りまとめ、地域関係者への調査結果の分析・提供・説明。



※ 地方農政局の所在地：東北（仙台）、北陸（金沢）、関東（さいたま）、東海（名古屋）、近畿（京都）、中国四国（岡山）、九州（熊本）
なお、これとは別に各県庁所在地などに拠点があります。
※ 沖縄は内閣府沖縄総合事務局が担当しています。

4. 組織紹介（令和7年1月現在 九州農政局統計部）



5. 農林水産統計ができるまで

- ・ 調査は、企画・設計・実施・公表・利活用のサイクルで、関係機関等と連携・協力して実施しています。
- ・ 地方農政局統計部は主に、調査実施・取りまとめから公表の業務を担っています。

- ✓ 調査対象
- ✓ 調査票
- ✓ 時期
- ✓ 標本数
- ✓ 調査方法
- ✓ 点検・評価
- ✓ 予算

調査の目的に応じて効率性を考えながら、調査対象、調査事項（調査票）、調査時期、標本数、調査方法など設計を行います。そして、統計法を所管する総務省への申請を行います。

■ 政策部局
政策などのニーズを把握し、調査を企画します。

①企画

②設計

■ 総務省

■ 調査員

調査票に基づき、面接、郵送などにより調査を行います。一部調査では一般の方を調査員として雇用し、調査を実施しています。

調査票を回収し、集計を行い、総数や平均値などの調査結果を取りまとめます。

- ✓ 面接、郵送等
- ✓ 審査・集計

③調査実施
・
取りまとめ

④公表

取りまとめた調査結果を、ホームページなどで公表します。新聞などメディアにも掲載されます。

- ✓ 広報、普及
- ✓ 速報と確報

⑤利活用

■ 政策部局

■ 国民

農政の推進

学術研究・教育など

公表された調査結果は、日本の農林水産業を取り巻く情勢を捉えるための“ものさし”となっており、政策決定のみならず、国民が農林水産業の「今」を知る指標として、また、学術的な研究にも使われています。

地方農政局の
主な業務

農家の経営状況、農畜産物の生産コストを明らかにする

－農業経営統計調査－

農家の収入、支出などを明らかにする「営農類型別経営統計」と、農畜産物の生産コストを明らかにする「農畜産物生産費統計」の2大体系で実施しています。

①企画

施策や調査環境の変化に対応しているか調査内容を点検し、ニーズに対応した調査となるよう常に見直しを行っています。

本調査は5年ごとに実施される農林業センサス等を母集団とした標本（サンプル）調査です。

本省において、センサス結果で明らかになった構造変化や、施策の変化に対応し農業地域別、規模別の標本数を設計しています。

②設計

③調査実施

・ 取りまとめ

地方農政局や都道府県拠点において職員や調査員が実施しています。調査は農家の年間を通じた協力に支えられており、調査現場における農家との信頼関係で成り立っています。

また、調査対象から得られたデータは、当年の作柄や生産事情などに照らして審査を行い、正確な調査結果を取りまとめています。

【農業経営統計調査の体系】

農業経営統計調査

営農類型別経営統計

水田作、畑作、野菜作、酪農、肉用牛など13営農類型別に農業経営の実態を把握

農畜産物生産費統計

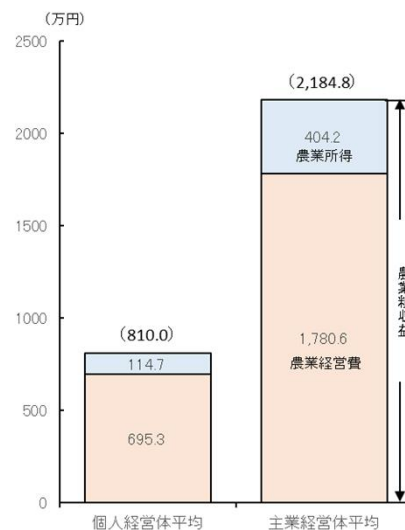
農業経営体における農畜産物（米、麦、大豆、牛乳、肉用牛など）の生産費（コスト）の実態を把握



④公表

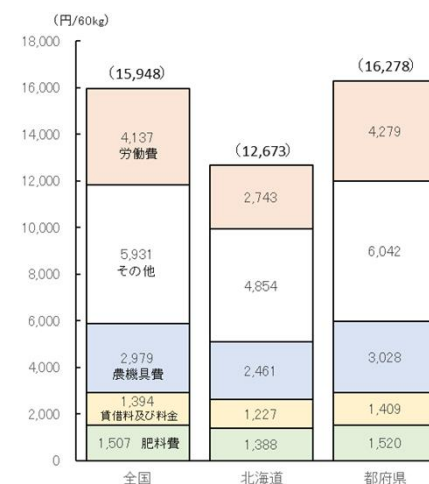
取りまとめたデータは、調査結果の分析を行い、国民視点に立った分かりやすいものとなるよう、解説を加えて公表しています。

令和5年 営農類型別経営統計
(個人経営体・1経営体当たり全国平均)



○ 個人経営体（全営農平均）の全国平均の農業所得は、114.7万円となり、そのうち、農業所得が主とする主業経営体の平均農業所得は、404.2万円となっています。

令和5年産 米生産費
(個別経営体・60kg当たり)



○ 全国平均の米60kg当たり生産費は、1万5,948円となっています。

こんな所で使われています・・・

- ・「営農類型別経営統計」は、各種農業施策の企画立案や施策評価等に活用されています。
- ・「農畜産物生産費統計」は、「経営所得安定対策」などの交付金算定等に活用されています。

⑤利活用

お米の豊凶を予測する - 水稻収穫量調査 -

全国で約8千箇所のほ場を実測調査し、水稻の作柄や収穫量を明らかにしています。

①企画

効率的で必要性のある調査が実施できるように、適宜調査事項や調査手法の改善を企画します。

本省において、都道府県別の調査結果が目標とする調査精度を達成できるように、調査ほ場数を算出します。
(全国で約8千のほ場)

②設計

地方組織の職員（調査員）が調査ほ場を選定して、実測調査を行います。

収穫が行われる前に実施する予想収穫量調査（9月、10月）では、穂数、もみ数など実測可能な項目は実測値を用い、実測不可能な項目は過去の気象データ及び実測データを基に推定した数値を用いて、10アール当たり収量を予測します。

収穫期に実施する収穫量調査は、稲を刈取り、脱穀・乾燥・もみすりを行った後、選別を行い、その重さを計測し、10アール当たり収量を決定します。

③調査実施 ・ 取りまとめ

調査ほ場選定

地方組織

母集団（約200万単位区）

標本単位区（約8,000単位区）

標本筆（約8,000筆）



実測調査

審査・集計

地方組織

本省

標本筆別結果審査

集計

都道府県別結果審査

集計

全国結果審査

課内説明

部内説明

省内説明

公表

公表

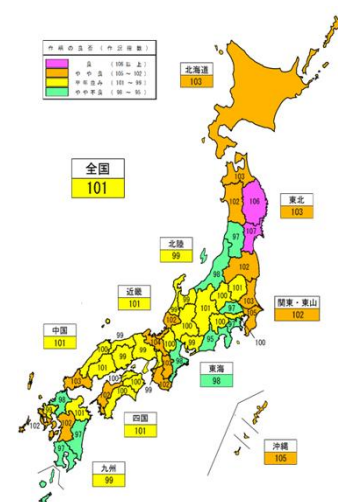
④公表

実測調査を取りまとめた結果は10月、11月、12月の年3回公表します（7月（一部地域）と8月には人工衛星データを利用した作柄予測結果を公表します）。

令和6年産水稻の作況指数（概数値）
（「令和6年産水稻の収穫量」より）

$$\text{作況指数} = \frac{10\text{アール当たり（予想）収量}}{10\text{アール当たり平均収量}} \times 100$$

- 作況指数は、作柄の良否を表す指標で、その年の「10アール当たり平均収量」に対する「10アール当たり（予想）収量」の比率を表したものだ。
- 10アール当たりの平均収量は、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平均並みと仮定した上で、実収量の趨勢を基に、最近の栽培技術の進捗の度合、作付品種の変動、温暖化の傾向等を考慮して作成した予想収量



【10a当たり（予想）収量の求め方】



過去の気象及び実測データから作成した重回帰式に、当年の気象及び実測データを入力して予測。

1m²当たり全もみ数

× 千もみ当たり収量

=

10a当たり（予想）収量



こんな所で使われています・・・

・国民の主食である米の需給及び価格の安定を図るための需給見通しの策定に用いられます。

・生産者が作業計画や販売計画等を立てる上での参考情報として利用されます。

⑤利活用

地方農政局統計部でできること

農林水産統計の作成のあたっては、本省統計部と地方農政局統計部で連携して実施しています。
地方農政局統計部は調査取りまとめのため、現場に出る機会も多いです。

③調査実施
・
取りまとめ

④公表

データの要を担う地方組織で・・・

訪問してみて！

農業現場を、自然の中での生業を



会話してみて！

農家の苦労や工夫を、栽培環境を



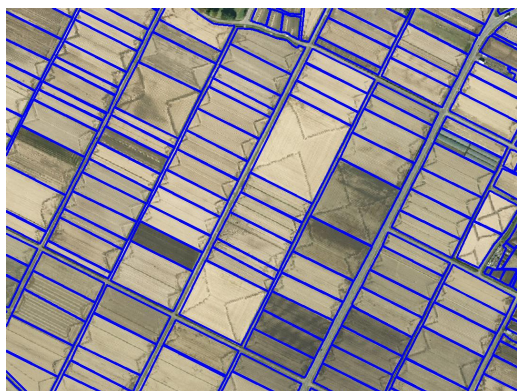
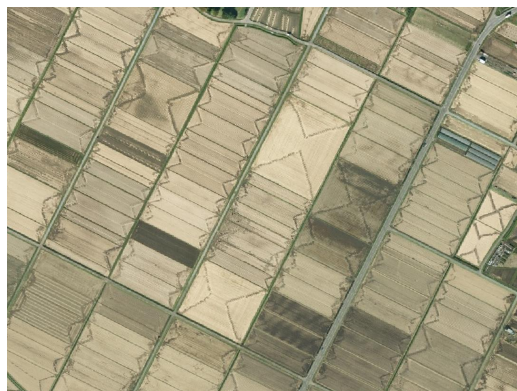
楽しんでみて！

ご当地メニューを、観光地を

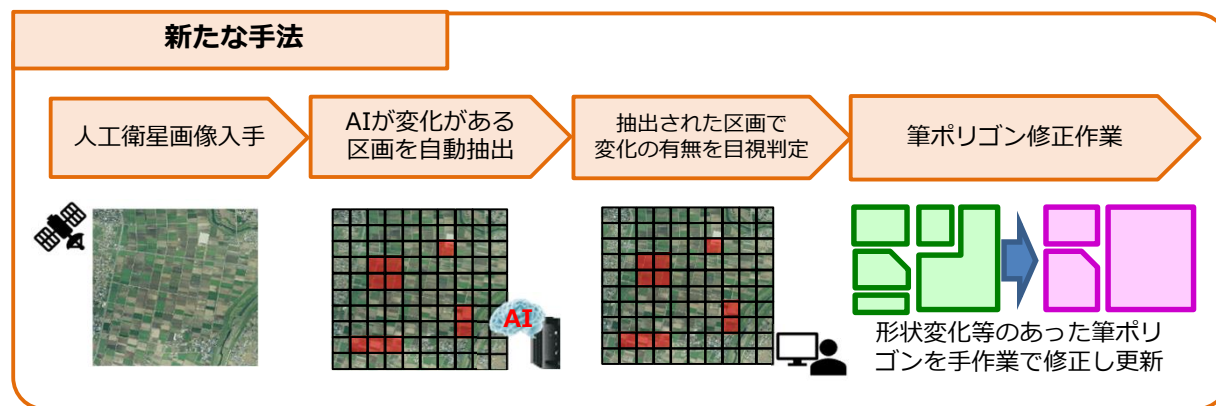
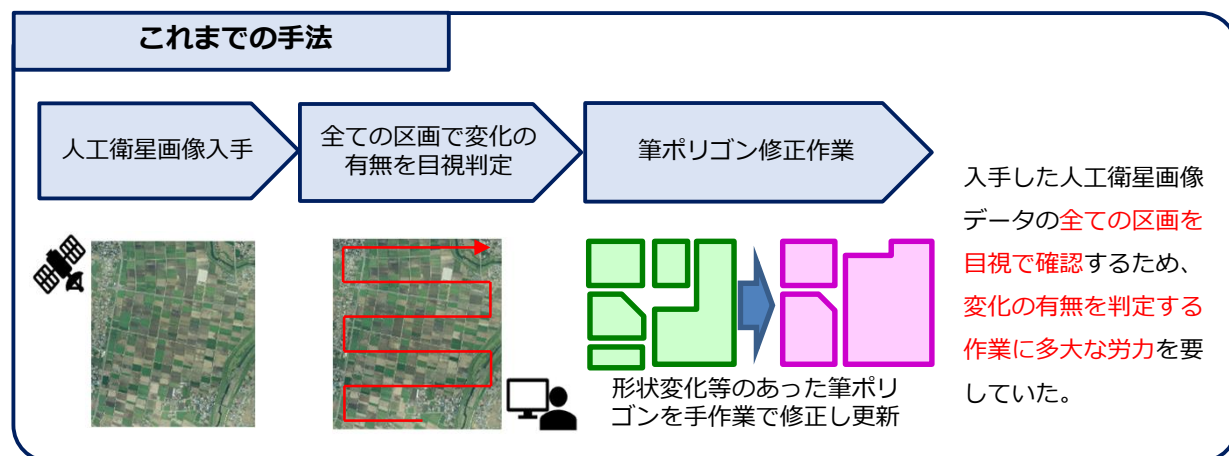


6. 人工衛星画像データやAIを活用し、調査を効率化しています

- 耕地面積調査等の母集団情報として、人工衛星画像をもとに「ほ場」の形状に沿って作成した農地の区画情報（筆ポリゴン）を整備し、オープンデータとして幅広く提供しています。
- 筆ポリゴンの更新作業では、AIを活用して人工衛星画像等を解析し、形状等の変化ありと判別した解析区画内の筆ポリゴンについて更新を行っています。



青線：筆ポリゴン



7. 統計データの分析を行い、政策立案を支援しています

統計部（本省）では、統計企画管理官に所属する職員を中心に、各課室の職員も参加する部内横断的な「統計データ分析支援チーム」をつくり、政策担当部局とも協力しながら統計データの分析を行い、政策立案を支援しています。

○ データ利活用・分析の取り組み事例（本省統計部）

（事例①）農泊実施による効果・満足度分析

農林業センサス、携帯端末の位置情報、SNSの投稿データ等の多様なデータを使って、農泊実施による農山漁村地域への効果や農泊の満足度及びその効果や満足度に影響する要因について分析を行いました。

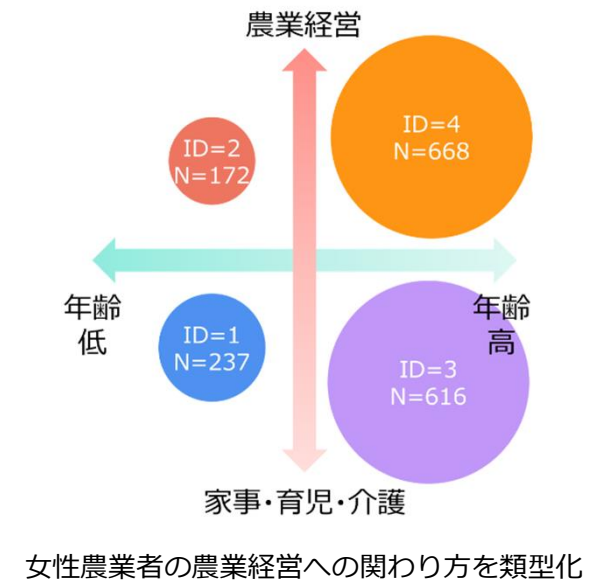
各トピックと関係性の高い単語の分類結果

	トピック1のキーワード群	トピック2のキーワード群	トピック3のキーワード群
単語群一覧	白杵月民泊宿泊農業 観光農家民宿 旅行場所農村民泊 体験ツアー伊豆高原 大分県ホームステイ投票修学旅行	農村民泊北海道旅行 蔵王写真 振興投稿 修学旅行民泊宿泊施設	農家民宿民泊農村農村民泊 研修体験農業宿泊安曇野 旅行修学旅行観光バクチャー笑顔伊豆仕事旅
単語の特徴	「体験」「ホームステイ」「場所」「グリーンツーリズム」などの体験の中身に関する関心を示す単語が多い	「振興」「協議」「写真」「投稿」「話題」等、受入れ側が農泊を地域振興に結びつけたたり、地域活動を広報したりする話題を示す単語が多い	「旅行」「民泊」「宿泊」「農家民宿」など、旅行としての農泊に関する話題を示す単語が多い
名称	体験・経験トピック	地域振興・広報トピック	観光・宿泊トピック

農泊に関連するSNSへの投稿をトピック分類

（事例②）農業における女性活躍に関する特徴把握分析

女性活躍に関する意識・意向調査のデータを使って、女性農業者の農業経営等への関わり方別の特徴や女性が農業経営に参画している農業経営体の特徴を把握するための分析を行いました。



分析レポートの詳細は農林水産省のホームページに掲載しています。
<https://www.maff.go.jp/j/tokei/bunseki/index.html>



7. 統計データの分析（つづき）

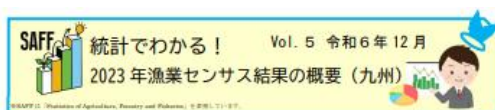
九州農政局でも統計企画課を中心に、部内横断の「統計データ分析チーム」を編成して各種分析を行うとともに、局内部室と連携して、施策の推進を支援しています。

また、各県拠点でも、総括農政推進官（分析）を中心に、地域農業の発展に資する分析を実施しています。

○ 九州農政局でのデータ利活用・分析の取組事例（令和6年度）

統計でわかる！九州の農林水産業

統計調査結果や行政データ等を活用して、九州の農林水産業の実態をコンパクトに説明しています。



九州の海面漁業経営体数は5年前に比べ19.3%減少

- 海面漁業
 - 海面漁業経営体数
九州の海面漁業経営体数は1万5,170経営体で、5年前に比べ3,631経営体（19.3%）減少しました。
 - 海面漁業従業者数
漁業従業者数は2万5,034人で、5年前に比べ7,438人（20.1%）減少しました。

図1 海面漁業経営体数の推移

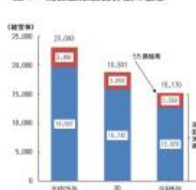
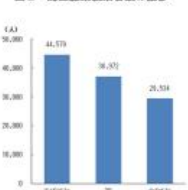


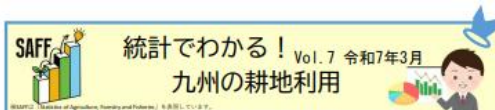
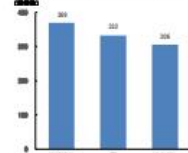
図2 海面漁業従業者数の推移



2 内水面漁業

- 九州の内水面漁業経営体数は306経営体で、5年前に比べ26経営体（7.8%）減少しました。

図3 内水面漁業経営体数の推移



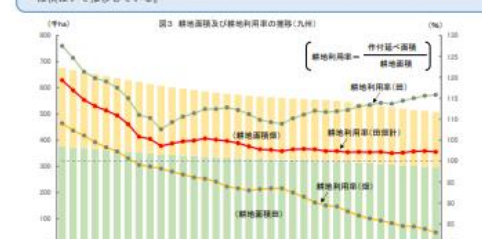
1 農業地域別及び九州各県の耕地利用率（令和5年）

○九州の耕地利用率は、二毛作が盛んな地域であることから、全国平均を大きく上回っている。
○九州各県別にみると、福岡県や佐賀県では水田を活用した農作業、宮崎県では飼料作物の作付けが盛んに行われているため、これらの県が高くなっている。



2 田畑別面積及び耕地利用率の推移（九州）

○九州の田畑別の耕地利用率の推移をみると、稲は年々低下しているが、田は平成10年までは大きく減少し、平成11年以降は上昇傾向で推移している。この結果、田畑計では平成11年以降はほぼ横ばいで推移している。



役立つデータ分析（分析レポート）

統計調査結果等を活用して、農林水産省の施策の企画・立案や検証に役立つ分析を実施しています。一部は、ホームページで一般に公開しています。

キ 農業センサスからみた経営耕地面積と経営体数に関する分析

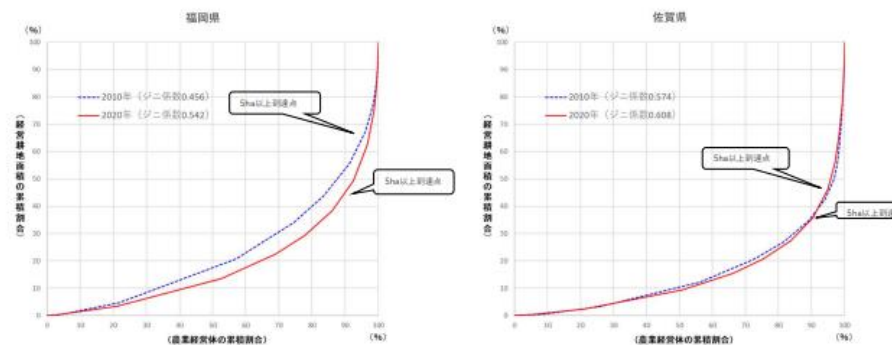
～ローレンツ曲線（集積状況）～

・2020年における耕地の集中の度合いを示すローレンツ曲線は、各県とも大規模経営体への耕地集積がんだことから、10年前に比べて下方へ膨らみが増している。

・各県のジニ係数の変化をみると、以下のとおり各県とも集中度が上昇している。

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
2010年	0.456	0.574	0.404	0.446	0.444	0.452	0.484
2020年	0.542	0.608	0.450	0.504	0.516	0.504	0.504

経営耕地面積のローレンツ曲線



資料：農林水産省統計部「2020年農業センサス」、「2010年農業センサス」

8. 統計を通じ、世界の食料安全保障に貢献しています

- 統計部では、開発途上国に対する技術協力を中心とした国際関係業務も行っています。
- 2001年に開催された「第1回アセアン+3（日・中・韓）農林大臣会合」において設立が合意された「アセアン食料安全保障情報システム（AFSIS）」の設立当初から、統計部では様々な支援事業を実施しています。
現在は、AFSIS事務局が設置されているタイ農業協同組合省に、統計部から1名の職員を専門家として派遣しており、緊急時において各国政府の政策立案等に必要な地域のデータを、迅速に収集・公表する仕組みをASEAN地域全体に構築するための支援を行っています。
- また、我が国及び国際的な農林水産統計開発に資するとともに、他国の農業統計担当機関との連携を強化するため、二国間対話に取り組んでいます。具体的には、米国農務省農業統計局との間で、年一回両国を交互に訪問する形で実施しているほか、今後、タイとの間でも同様の対話を行うこととしています。



AFSIS関連の国際会議で発言する職員（バンコク）



米国農務省主催若手統計官研修に参加する職員（ワシントンD.C.）



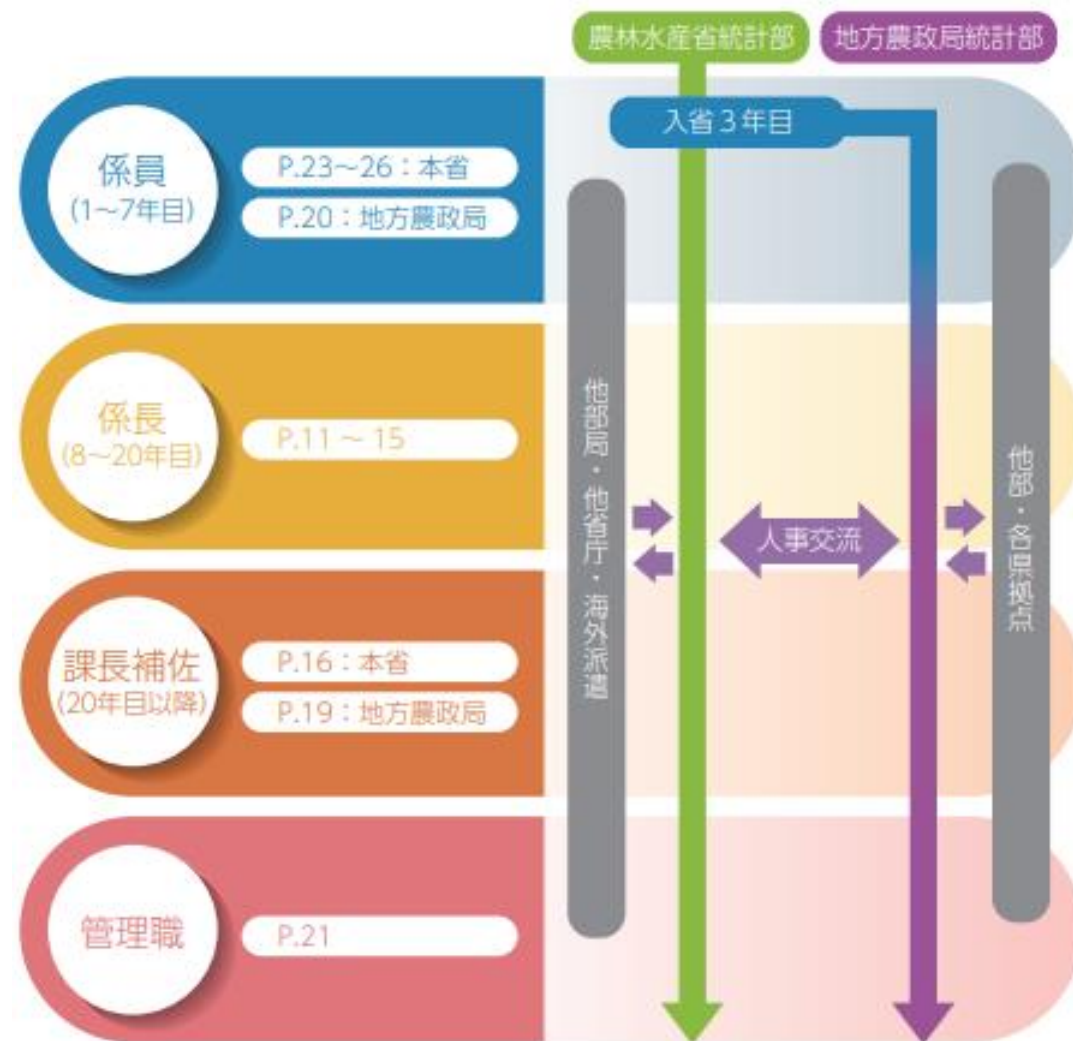
日米対話に参加する職員（東京）

9. キャリアパス

- 平成28年以降、**統計の専門的知識を身につけた職員を育成するために、独自で採用を行っています。**
- 採用時、①本省統計部、②地方農政局統計部のいずれかをメインとしたキャリアパスを選択できます。
- ②の場合、採用時から2年間は本省統計部勤務となりますが、入省3年目以降は地元に近い農政局で勤務できます。

本省統計部・地方農政局統計部だけでなく、統計部以外の、政策立案推進部局や、他省庁、海外派遣などの勤務経験の機会もあります！

統計部職員のインタビューはこちら →
<https://careers.maff.go.jp/recruit/requirement/c08/>



9. キャリアパス

国家公務員を目指している方必見！！

農林水産省の統計のお仕事をしてみませんか

☆注目！！
採用時点で、以下2つのいずれかをメインとしたキャリアパスの選択となります。

- ① 農林水産省統計部
- ② 地方農政局統計部

☆地元エリアで働ける！！
②の場合、採用から2年間の農林水産省統計部（霞ヶ関）での勤務後、入省3年目以降は地元地域の農政局で勤務します。地元近郊で働くライフプランが可能です。

【地方農政局所在地】
北海道農政事務所（札幌）、東北農政局（仙台）、関東農政局（さいたま）、北陸農政局（金沢）、東海農政局（名古屋）、近畿農政局（京都）、中国四国農政局（岡山）、九州農政局（熊本）

業務内容 ① 農林水産省統計部
農林水産統計の企画、集計した調査結果による統計の作成、統計データの分析 等

② 地方農政局統計部
農林水産統計の実査業務の運営、調査結果の取りまとめ、集計、地域データの分析 等

農林水産統計は政策の企画立案になくてはならないものです！

統計を専門的に学んでいなくても大丈夫！
採用後の研修は充実しています！

試験区分は国家公務員採用試験一般職試験（大卒程度試験）の「行政」※、「農学」、「化学」または「デジタル・電気・電子」です！
※ 「行政」区分で統計の仕事希望する場合、原則として①のキャリアパスの採用となります。詳しくはお問い合わせください。

ご興味のある方は採用HPをご覧ください。ご相談も大歓迎です。なんでも聞いてください！お待ちしております！

【採用区分】

国家公務員一般職（大卒程度）

【試験区分】

- ・ 行政区分
→原則として本省での勤務
- ・ 技術系区分（農学、化学、デジタル・電気・電子）
→本省での勤務 または 地方での勤務を選択

統計部採用案内キャッチページ

https://careers.maff.go.jp/recruit/articles/?id=1082_articles_c08__0001

10. 研修

統計部が実施する研修のほか、総務省、デジタル庁等が実施する研修など、初めて統計を学ぶ方からベテランの方まで、様々な研修や資格取得に向けた講座を用意し、職員の資質向上を図っています。

統計学を専門的に学んだ経験や知識は必要ありません。入省後の充実した研修やキャリアを通じて、スキルを身に着けることができます。

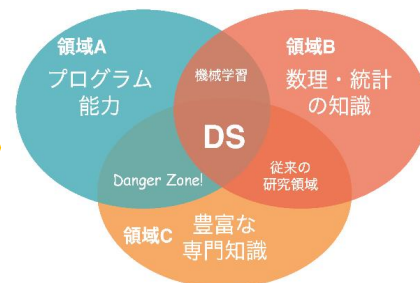
主な研修メニュー

係員 1 ～ 2 年目		係員 3 年目	係員 4 ～ 7 年目	係長	課長補佐
農林水産統計専門職員研修（統計検定）					
統計部職場研修 （各課室の調査 内容と役割）	農林水産統計専門職員研修 （2 年目コース）				
	現場体験 （水稻収穫量調査、面積調査）				
統計部 スキルアップ講習会、データサイエンティスト育成研修（※）					
オンライン統計研修（総務省）					
初めて学ぶ統計	統計担当者向け入門	統計データアナリスト補研修	統計データアナリスト研修/本科（総合課程）		
農村派遣研修（事前勉強会・報告会）		統計部 個別研修プラン			
統計部 簿記研修、調査の民間委託に対応した予算・執行・契約講習会					
語学研修、在外研究員、実践的研修（予算業務、国会業務、法令制度、報道研修）、情報システム統一研修（デジタル庁）					
新規採用者研修			係長養成研修	係長 フォローアップ研修	課長補佐等 養成研修
					課長補佐 フォローアップ研修

データサイエンティスト育成研修（※）

データに基づく政策立案や効果検証ができる人材を育成することを目的として、データサイエンティスト育成研修を実施しています。

オンライン学習と集合研修を併用し、効果検証や因果推論などのデータ分析の基礎となる統計学に加え、機械学習や各種デジタルツールの活用方法などについて幅広く学べる内容となっています。



（データサイエンス）

$$DS = A \cap B \cap C$$

出所：Drew Conway, The Data Science Venn Diagram,
<<http://drewconway.com/zia/2013/3/26/the-data-science-venn-diagram>>を翻訳・加筆

1 1. ワークライフバランス

○ 職員一人当たりの超過勤務時間（1か月）

業務や時期による繁閑はありますが、年間平均の超過勤務は右のとおりです。

また、テレワークやフレックス制度を活用して、仕事と家庭や余暇を両立することもできます。

農林水産省統計部 （常勤職員）	9. 9 時間
九州農政局統計部 （常勤職員）	4. 5 時間

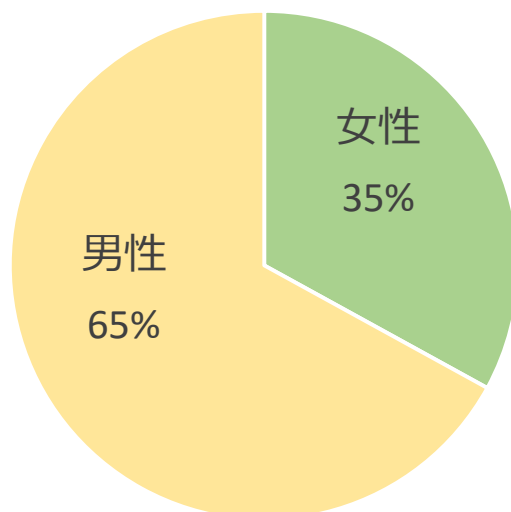
※令和6年度における職員一人当たりの平均超過勤務時間数

○ 女性職員の採用状況 （本省統計部）

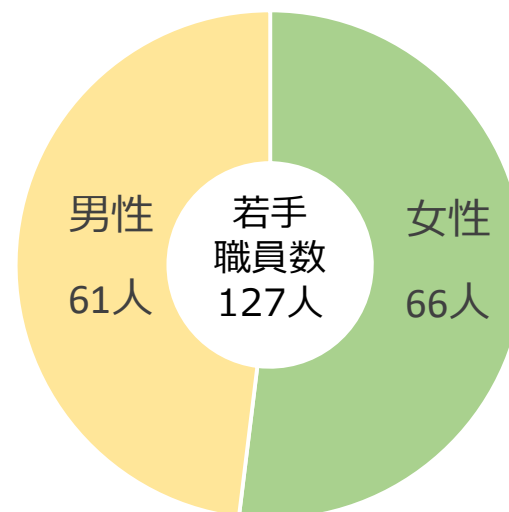
農林水産省統計部における女性職員の割合は、**30%**を超えています！

また、H28～R7年の新規採用者を見ると、**50%**となっています！

統計部男女別割合



採用実績（H28～R7）の男女別割合



令和7年1月1日現在の本省統計部の職員数

12. 先輩職員へのインタビュー（九州農政局統計部）

生産流通消費統計課
Nさん（女性）
（入省4年目
統計部配属1年目）

Q1 どんな業務を担当していますか。

麦、果樹、茶、漁業・養殖業生産統計に関する業務を担当しています。
大分県を担当し、県拠点の統計担当の皆さんと協力しながら調査業務を行っています。

Q2 統計業務への不安はありましたか？実際に配属されてどうですか。

専門性の高い部署というイメージがあったので不安も大きかったですが、分からないことは課内の皆さんから御教示いただいたり、各種研修や新聞記事等から知識の習得を行うことができるので不安は無くなりました。

Q3 業務のやりがいとは？

テレビや新聞などで農林水産統計データを目にしたときに、重要な仕事を担当している実感が湧いてきます。農業政策の根幹となる部門ですので、やりがいは大いにあります。

経営・構造統計課
Hさん（女性）
（入省2年目
統計部配属2年目）

Q1 どんな業務を担当していますか。

農業経営統計調査（営農類型と林業経営）と林業産出額の九州結果の取りまとめを担当しています。

Q2 職場の雰囲気、上司や同僚の雰囲気はどうですか。

上司の指導が丁寧で、不安なく着実に業務を覚えることができます。毎日笑顔で過ごせる穏やかな職場の雰囲気をみんなが作ってくださるので、働きやすい環境です。

Q3 統計業務への不安はありましたか？実際に配属されてどうですか。

はじめは、統計ってなんだろう？理解できるのかと不安に思っていたですが、丁寧なOJTと研修もあり、基本的な統計調査やデータ分析も理解できる環境です。

Q4 ワークライフバランスはとれていますか。

家庭の事情など配慮していただけることで、不安なく仕事も家庭も両立できています。

1 3. 統計部の業務や採用活動に関する情報



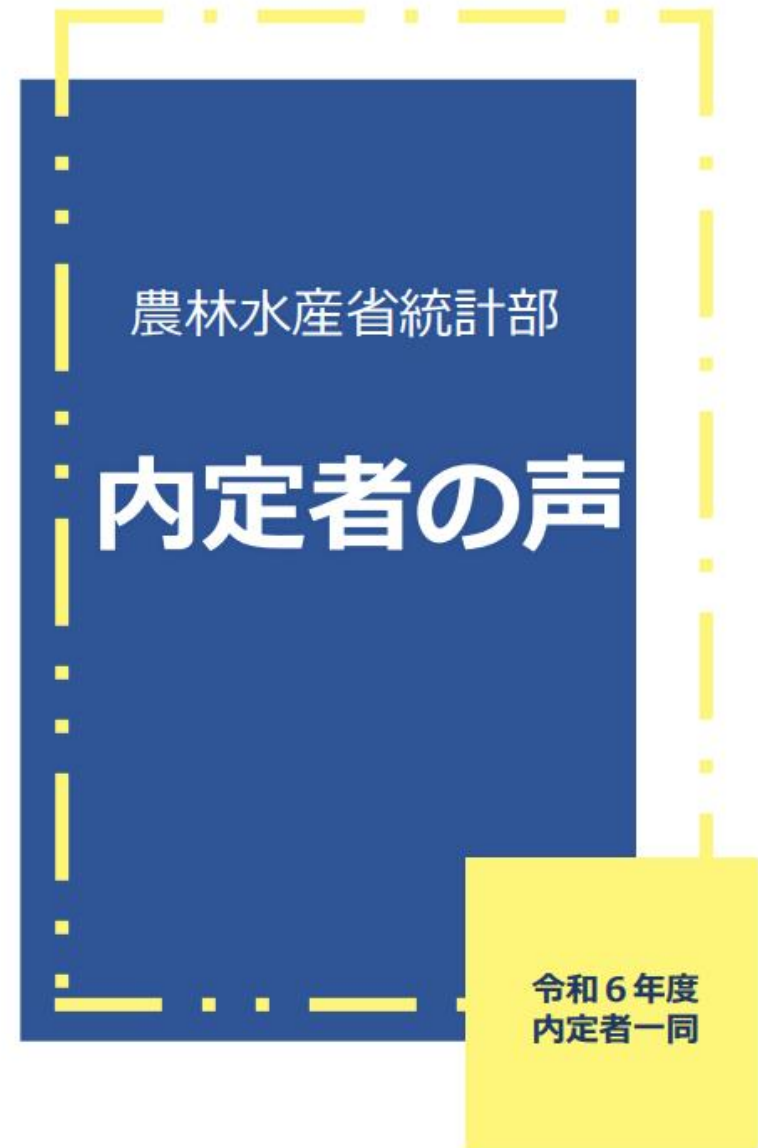
資格取得養成講座からの取材を受けました

<https://www.youtube.com/watch?v=uZJ5fCtEEQQ>
(第1～5回)



統計部入省案内

https://careers.maff.go.jp/cmsdata/filelib/toukei_R8pumf_00_20250303.pdf



内定者の声

<https://careers.maff.go.jp/recruit/requirement/c08/>

ご清聴ありがとうございました！！

- 業務説明会等の日程は、随時、統計部採用ホームページ（以下のQRコード参照）で更新しています。
- 統計部に関する疑問・質問などありましたら、お気軽に採用担当までご連絡ください。

【農林水産省統計部採用案内のWebサイト】

<https://careers.maff.go.jp/recruit/requirement/c08/>

【問い合わせ先（九州地区）】

九州農政局 統計部 調整課 採用担当

直通：096-300-6526

E-mail：saiyou_stat_kyusyu@maff.go.jp

担当 二宮、中橋



採用HPはこちら



農林水産統計
データはこちら